

## 第29回学術集会プログラム

### 「国際標準化の意義、必要性について（仮題）」

本セミナーの母体となる生物化学的測定研究会は、生物機能や生物素子などの生物化学的特性に基づく測定技術の革新と普及を追求し、国際、国内標準化を行うとともにその社会還元を使命としています。このたび3名の講師を迎えて、ISO、OECDについて国際標準化の意義と必要性、成立までの流れ、その成功事例について説明していただきます。このセミナーが、企業、研究所、大学の皆様にとって、国際標準化への触媒となれば幸甚です。

■期日：2024年（令和6年）7月3日（水） 13:00～14:35（受付12:50～）

■会場：JMS アステールプラザ 特別企画4 B会場  
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

■オーガナイザー：鑪迫 典久（愛媛大学大学院 農学研究科 環境計測学教育分野 教授）

#### ■プログラム

総会は、当日午前中

同館7階研修室にて、11:45～開催します。併せて、紙面にて学術集会にてご提示します。

座長：太田 邦史（東京大学大学院 総合文化研究科 教授）

13:00-13:45 講演1「環境問題解決のための国際標準化活動

～ 令和5年度産業標準化事業表彰・経済産業大臣表彰記念講演 ～

大野 香代（一般社団法人産業環境管理協会 環境管理部門 国際協力・技術センター所長）

13:45-14:15 講演2「OECDテストガイドラインの提案から成立まで」

井口 泰泉（横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 特任教授）

14:15-14:30 講演3「新素材の開発・普及に伴うISO化の必要性（仮）」

村田 真也（一般社団法人構造タンパク質素材産業推進協会（SPIA））

14:30-14:35 閉会の挨拶

鑪迫 典久（愛媛大学大学院 農学研究科 環境計測学教育分野 教授）

■参加費：当日の環境化学討論会参加費に含まれます。（要旨代込み）

主催学会/共催<sup>①</sup>が「非会員」の方で、生物化学研究会のみ会員の方も「会員」価格で参加できますので、事前申し込みを是非、ご検討ください。

<https://j-ec.smartcore.jp/M022/forum/touron32>

ただし、本研究会学術集会のみに参加の方は、事務局へご連絡ください。

(1) 主催学会：（日本環境化学会、日本環境毒性学会）と共催（日本質量分析学会、日本野生動物医学会、日本水環境学会、セタックジャパン）のいずれかに所属されている方のことです。

■情報交換会；5,000円

事前予約と当日参加を募って、当日の夕方を開催予定とします。

■会場案内／〒730-0812 広島市中区加古町 4 番 17 号

JMSアステールプラザ 特別企画4 B会場



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：中村）

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地

株式会社日吉内

TEL：0748-32-5001 FAX：0748-32-4192

E-mail：[basi@hiyoshi-es.co.jp](mailto:basi@hiyoshi-es.co.jp)

HP：<http://www.basi.info>

## 参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (0748-32-4192)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 ([basi@hiyoshi-es.co.jp](mailto:basi@hiyoshi-es.co.jp))

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第29回学術集会の参加を申し込みます。

参加スタイル

- 当日研究会学術集会のみです。
- 当日主催学会の会員で、研究会参加者です。
- 当日主催学会の非会員で、参加者です。

研究会会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

情報交換会参加 :

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

\* 当日、研究会学術集会参加のみの方はお振込書をお送りします。